

# 主日礼拝

2026年6月14日 10時20分～

司式:

奏楽:

## 「囚われた者を」

『サムエル記上』では、かつて神に選ばれ、王となったサウルでしたが、神への不従順によって主の霊は彼を離れ、恐れと不安に支配されるようになりました。王でありながら、自らの力では心の平安を取り戻すことができず、罪による苦しみ囚人となったのです。その姿は、地位や権力が人を真に自由にするのではなく、神との交わりこそが人を支えることを示しています。サウルは恐れや執着、神への不信に囚われ続けることになるのです。このことは、サウルだけの悲劇ではなく、現代を生きる私たちの姿をも映し出しています。人は成功や名誉、財産を得ても、不安や嫉妬、過去への後悔に縛られることがあります。ダビデの奏でる琴の音色は、神の恵みと慰めのしるしとして、囚われた心に安らぎを与えます。そして聖書は、真の自由とは、自分の力に頼ることではなく、神の前に立ち返り、その導きの中に生きることにあると語りかけているのです。

『使徒言行録』では、使徒パウロ一行に、占いの霊が取りついた女奴隷がつきまといまいます。彼女は主人たちの利益のために利用されていたのでした。パウロがキリストの名によって霊を追い出すと、彼女は解放されます。しかし利益を失った主人たちは怒り、パウロとシラスを牢獄に閉じ込めます。占いの霊に囚われた女奴隷、金銭欲に囚われた主人たち、偏見と群衆心理に囚われた人々、そして文字どおり牢に囚われたパウロとシラスが描かれているのです。神はそのような様々な束縛の中にある人々を見捨てず、キリストの福音によって真の自由へと招かれるのです。この箇所は、神の救いこそが囚われた者を解放するのだと伝えているのです。主イエス・キリストの福音は、人間をあらゆる束縛から自由へ導く力であることを示しています。

### 《神の招き》

前奏 『神は我がとりで』 J.G. ヴァルター  
花籠奉獻 教会学校

招詞 イザヤ書61章1節  
賛美歌 203

### 《神の言葉》

祈禱 聖霊の照らしを求める祈り  
聖書 サムエル記上16章14～23節 (旧約438頁)  
使徒言行録16章16～24節 (新約241頁)

子ども説教 詩編32編1～7節 (37頁)

交読詩編 432

賛美歌 「囚われた者を」 八木浩史牧師

説教 祈禱  
賛美歌 535

### 《感謝の応答》

信仰告白 使徒信条  
献金 献金当番  
祈禱  
主の祈り (週報表紙、ホームページ掲載)

### 《派遣》

頌栄 24  
祝福  
報告  
後奏

礼拝当番: (役員: ) 献金当番:  
音響: 映像: